令和３年 12 月 15 日（第９号）

ヨーロッパザラボヤ関係調査結果

※北海道ほたて漁業振興協会からの受託研究で実施

道総研中央水産試験場

◎ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査

12 月 10 日に祝津ホタテ養殖漁場のホタテ部会の試験用桁で、表層から水深 30m の浮遊幼生調査を行いました。調査の結果、**ザラボヤの浮遊幼生は確認されませんでした**（表１）。5月 12 日に垂下した試験篭への付着状況では **57 個体と、先月の 164 個体から急減しました**（図１）。付着サイズは平均 46.4 ㎜（最大 63.7 ㎜、最小 23.9 ㎜）でした（図２）。ザラボヤ付着器には付着は確認できず（表２）、小型個体の付着は確認されなかったことから（図２）、**10 月中旬から 11 月中旬ごろに篭への新規の付着はほとんど無かった**ものと考えられます。

表１：ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査結果

場所	水深	水温【℃】	クロロフィル【μg/L】	ザラボヤ	
				個	個/ﾄﾝ
ホタテ部会の調査桁	0～30m	4.7～12.2	0.43～1.33	0	0

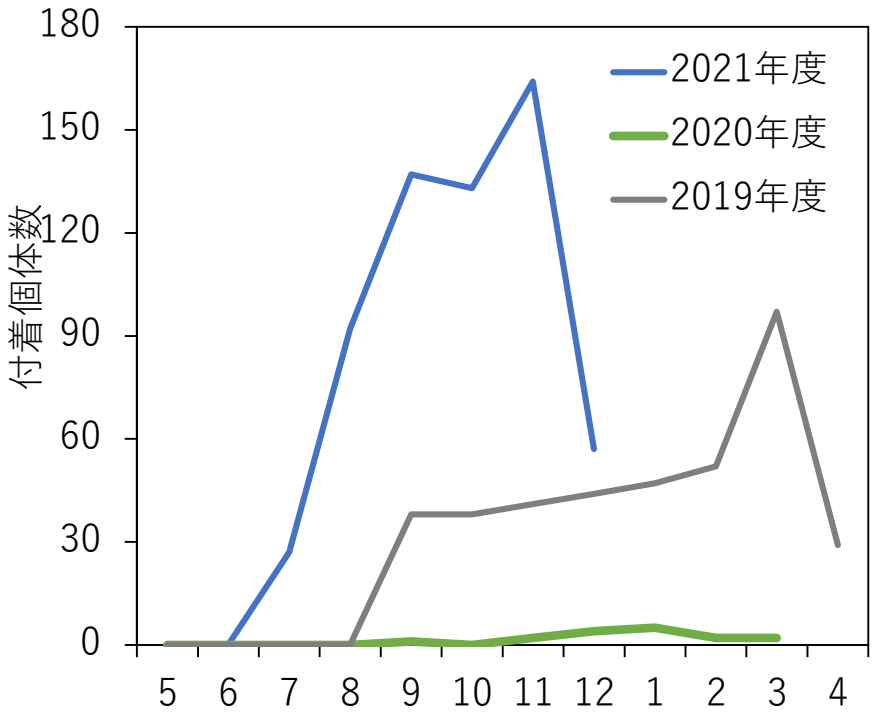

図１：篭へのヨーロッパザラボヤの付着数の変化

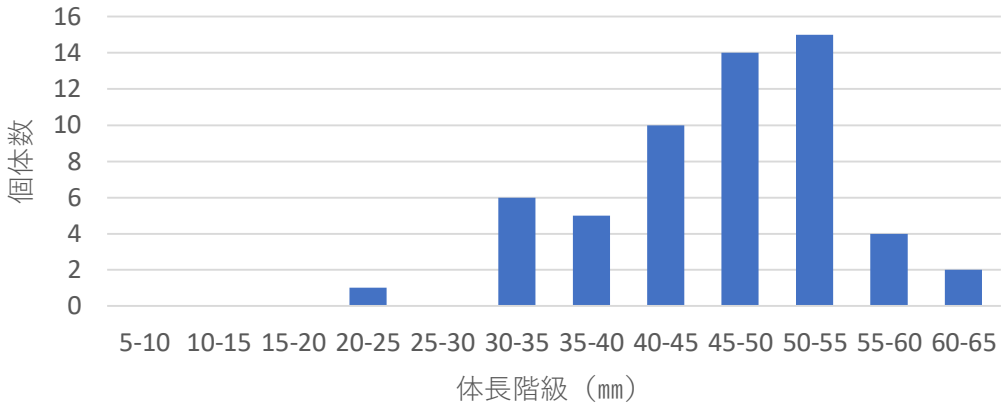

図２：体長階級別ザラボヤ付着個体数

表２：ザラボヤ付着器への付着数

設置	回収	付着数
5月12日	7月14日	21
6月16日	8月6日	0
7月14日	9月15日	1
8月6日	10月7日	0
9月15	11月18日	3
10月7日	12月10日	0

写真１　ザラボヤ付着器

【参考資料】

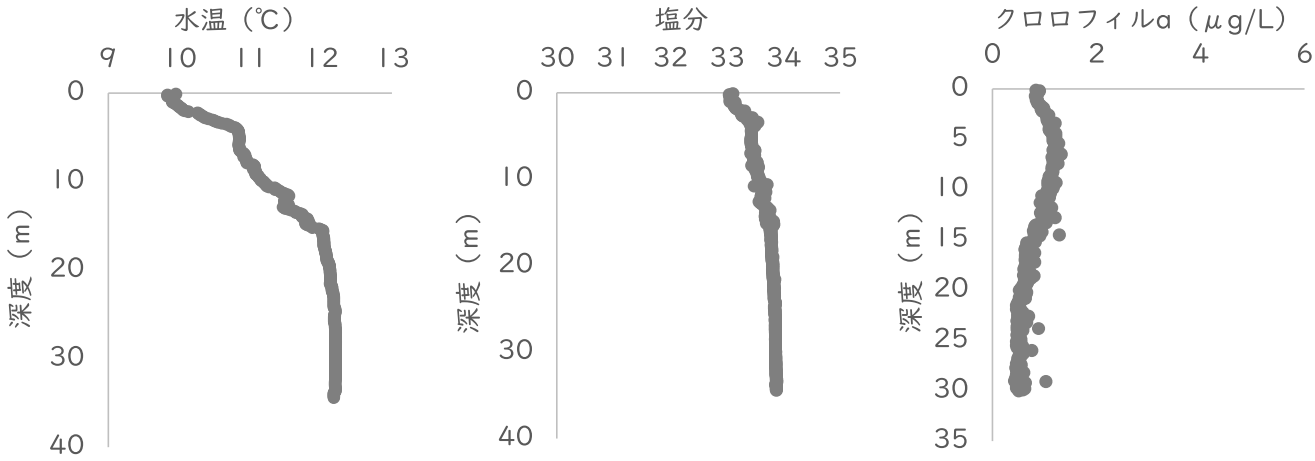

図３：ホタテ部会調査桁の水温・塩分・クロロフィルの鉛直分布

◎ヨーロッパザラボヤ調査は今後継続して実施します（次回調査：１月中旬に実施予定）。

※調査結果は中央水産試験場 HP からも確認できます。

https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/zoushoku/tkh4vd0000002m9a.html